

北海道教育委員会 (所在地: 北海道)

事業名

ほっかいどう共生社会プロジェクト～インクルーシブな生涯学習の充実～

事業の趣旨・目的

- ・関係機関の参画による地域コンソーシアムを形成し、インクルーシブな学び合いの場づくりの支援や障がいのある方の学びを支える人材の育成等を通して、障がいの有無にかかわらず誰もが自分らしく学び続けられる体制を構築し、「共に学び、生きる共生社会」の実現を目指す。

事業実施体制・連携先

- ・医療法人、社会福祉法人、大学等の高等教育機関、特別支援学校、社会教育関係団体、文化団体、スポーツ団体、障がい当事者団体、道立生涯学習推進センター、社会教育施設（ネイパルなど）、市町村（教育委員会含む）など

事業内容

- 1 地域コンソーシアムの形成
 - ・道や市町村の関係部局、大学、特別支援学校、医療法人、社会福祉法人、NPO法人や障がい当事者団体等が参画
 - ・参画する関係機関・団体等の構成員による「地域コンソーシアム会議」の開催（年4回：7月、9月、11月、1月）
 - ・学びのシステム構築に向けて、各取組との連携・協力及び「地域コンソーシアム会議」での協議等を行う
 - ・参画する地域コンソーシアム関係機関・団体等の構成員による各地の障がい者の生涯学習に関する取組等の視察（道内4回）
- 2 インクルーシブな学び合いの場づくり支援事業
 - ・障がい者の生涯学習活動に取り組む多様な実施主体（市町村、大学、社会教育施設、民間団体等）の連携・協働による、障がい者の学習ニーズを捉えた、障がいの有無にかかわらず参加できる学び合いの場づくりを支援する
 - ・インクルーシブな学び合いの場づくり支援アドバイザー（地域コンソーシアム関係機関・団体等の中から決定）を活用し伴走型支援を行う
- 3 インクルーシブな学び合いの場づくり実践型研修
 - ・インクルーシブな学び合いの場づくりに必要な専門的スキル及び合理的配慮の提供について、体験や見学・交流型の研修等を通して学び、障がい者当事者の生涯学習の実践や想いを聞くことで、障がい者の生涯学習推進の中核となる人材の育成を図る
 - ・集合型研修（道南ブロック、道北ブロックの2会場で開催）
- 4 ほっかいどう共生社会プロジェクト」オリエンテーション
 - ・取組についての理解を深めるための説明会を実施（6月）
- 5 共に学び、生きる共生社会コンファレンス in 北海道
 - ・地域の実践の分析・共有や学び合いの場の充実のため、研究協議や実践交流等を行う
 - ・日時：令和8年11月21日（土）
 - ・会場：よつ葉アリーナ十勝（帯広市）、ハイブリッド方式
- 6 実践研究「社会教育施設を拠点とした障がいのある方の学び合いの場の充実」
 - ・障がい当事者のニーズを反映するため、社会教育施設を拠点とした連携による実証研究を行う

事業終了後の目指す方向性

- ・全道各地の実情に即したインクルーシブな学び合いの場の充実、障がいのある方の学びを支援する人材の育成、社会教育施設を拠点とした実践の共有やネットワーク形成などの多様な取組の継続的な展開及び各地域への定着。
- ・これらの取組を通じて、障がいの有無にかかわらず誰もが自分らしく学び続けられる体制を構築し、「共に学び、生きる共生社会」を実現する。

その他



◀ 北海道教育委員会ウェブサイト
「障がい者の生涯学習推進」

北海道立生涯学習推進センター ▶
「障がい者の生涯学習支援」

